

Case : 356

立ち上がる際にブレーキのロックが解除され転倒しそうになる

場面の説明

歩行車から立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除され、ふらつき転倒しそうになった



利用シーン	 立ち座り
主な利用場所	 その他
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

歩行車で座って休憩した後、立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除されてふらついてしまった事例です。歩行器の幅が狭い場合や、利用者がふくよかな場合、冬季で着ぶくれている場合などに、ブレーキレバーに引っかかりやすくなります。利用者がブレーキが外れる可能性を理解した上で、慎重に動作をする習慣が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：歩行車の幅が狭く、腰がブレーキに触ってしまった
- 人：リスクを予測して選定できなかった
- モノ：歩行車の幅が狭く、ブレーキレバーが引っ掛かりやすい
- 管理：導入の際の使用上の注意喚起が不十分だった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 356

立ち上がる際にブレーキのロックが解除され転倒しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

歩行車から立ち上がろうとして腰がブレーキにあたり、ロックが解除され、ふらつき転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ